

令和7年度 北海道中学校体育大会 ソフトテニス大会における熱中症防止対策 及び競技進行が困難な場合における代表選手・チームの選出方法について

北海道中学校体育連盟事務局

【全競技に関わる熱中症防止対策】

- ・各競技における基本的な熱中症防止対策については、「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」（当連盟HPの「規約・お願い・連絡事項」のページに掲載）に基づき、大会運営を行う。
- ・会場の暑さ指数計において、暑さ指数（WBGT）が 31℃（※気温と同じ単位であるが、気温だけではなく、気温・湿度・日射・輻射を総合した指標）に近づいたり、31℃を超えたりした場合には、会場の換気や観戦者の入場制限（屋内競技のみ）、大会の中断、競技日程の変更などの措置を検討する。
- ・前日の 17 時に気象庁より発表される「熱中症特別警戒アラート」（※「熱中症警戒アラート」とは異なる）が発令された場合には、その日の大会の中止を検討する。
- ・会期中に試合やレース等の全日程を終了することができなかった場合には、各競技ごとの基準に基づき、全国中学校体育大会の北海道代表選手及びチームを選定する。

【ソフトテニス大会に関わる熱中症防止対策】

○ 基本的な対策

- ・給水タイムの追加
 - 通常奇数ゲーム終了時（チェンジサイズ）およびファイナルゲーム開始前に 1 分間のコーチングの時間で給水を認めているが、偶数ゲーム終了時（チェンジサービス）およびファイナルゲームのチェンジサイズ時（合計ポイントが 2, 6, 10, 14, 18, 以後 4 ポイント毎）に審判台の下に水分を置き、給水を認める。
- ・ヒートルールの適用
 - 日本ソフトテニス連盟競技規則第46条ヒートルールを適用する。具体的には乾球温度が35度を超えた場合にファイナルゲーム前に 3 分の休憩をとる（通常のコーチング 1 分+追加 2 分）。ただし、本大会の特別ルールとして、追加の 2 分間においてもコーチングを認める。
- ・会場へのクーリングスポットの設置
 - 会場にクーリングスポットを設置し、熱中症対策を行う。
- ・WBGT計の測定、給水・熱中症対策の喚起
 - WBGT計の定期的な計測（外気温30度以上またはWBGT計25度以上の際は30分毎、それ以外は1時間毎）を行い、計測時に外気温30度以上またはWBGT計25度以上の場合は、給水および熱中症対策の喚起の放送を行う。

○ 基本的な対策

・試合中断の判断

→ WBGT計が31度を超えた場合は、試合中断の判断を行う。数値の動向を見て、回復が難しいと判断した場合は、室内に移動しての実施を検討する。

● 競技が進行できない場合の代表チームの選出方法

- ・熱中症特別警戒アラートが発令された場合は該当日の日程を中止する。大会1日目であった場合は、団体戦の延期は行わない。
- ・団体戦や個人戦が実施されなかった場合は以下のように代表を選出する。

① 団体戦 … 「ケンコーカップ第46回北海道中学生団体対抗ソフトテニス大会」の優勝校の地区を第1代表、準優勝校の地区を第2代表とする。

② 個人戦 … 「第51回北海道中学生インドアソフトテニス選手権大会」の優勝ペアの地区を第1代表、準優勝ペアの地区を第2代表、準決勝で優勝ペアに敗れたペアの地区を第3代表、準決勝で準優勝ペアに敗れたペアの地区を第4代表とする。なお、各地区において本大会にエントリーしている順に従って優先する。

- ・個人戦が実施されたが、途中で中断され場合は以下のように代表を選出する。

① 2回戦が終わらなかった場合 … 上記の「団体戦や個人戦が実施されなかった場合」に同じ。

② 2回戦がすべて終わった場合 … 2回戦終了後、3回戦の途中であれば2回戦終了時に勝ち残っているチーム（ペア）から抽選を行う。以降、3回戦終了後、4回戦の途中であれば3回戦終了時に勝ち残っているチーム（ペア）から抽選というように、すべての対戦が終わった回戦で勝ち残ったチーム（ペア）より抽選により代表を選考する。

- ・団体戦が実施されたが、途中で中断され場合は以下のように代表を選出する。

① 予選リーグが終わらなかった場合 … 上記の「団体戦や個人戦が実施されなかった場合」に同じ。

② 予選リーグが終わった場合 … 決勝トーナメント1回戦が終わっていない場合は予選リーグを通過した6校で抽選を行う。決勝トーナメント1回戦が終了した場合は、勝ち残った4校で抽選を行う。準決勝が終わった場合は、2校で第1代表と第2代表を決める抽選を行う。

③ 雨天プログラム実施時 … 個人戦の②と同じ。